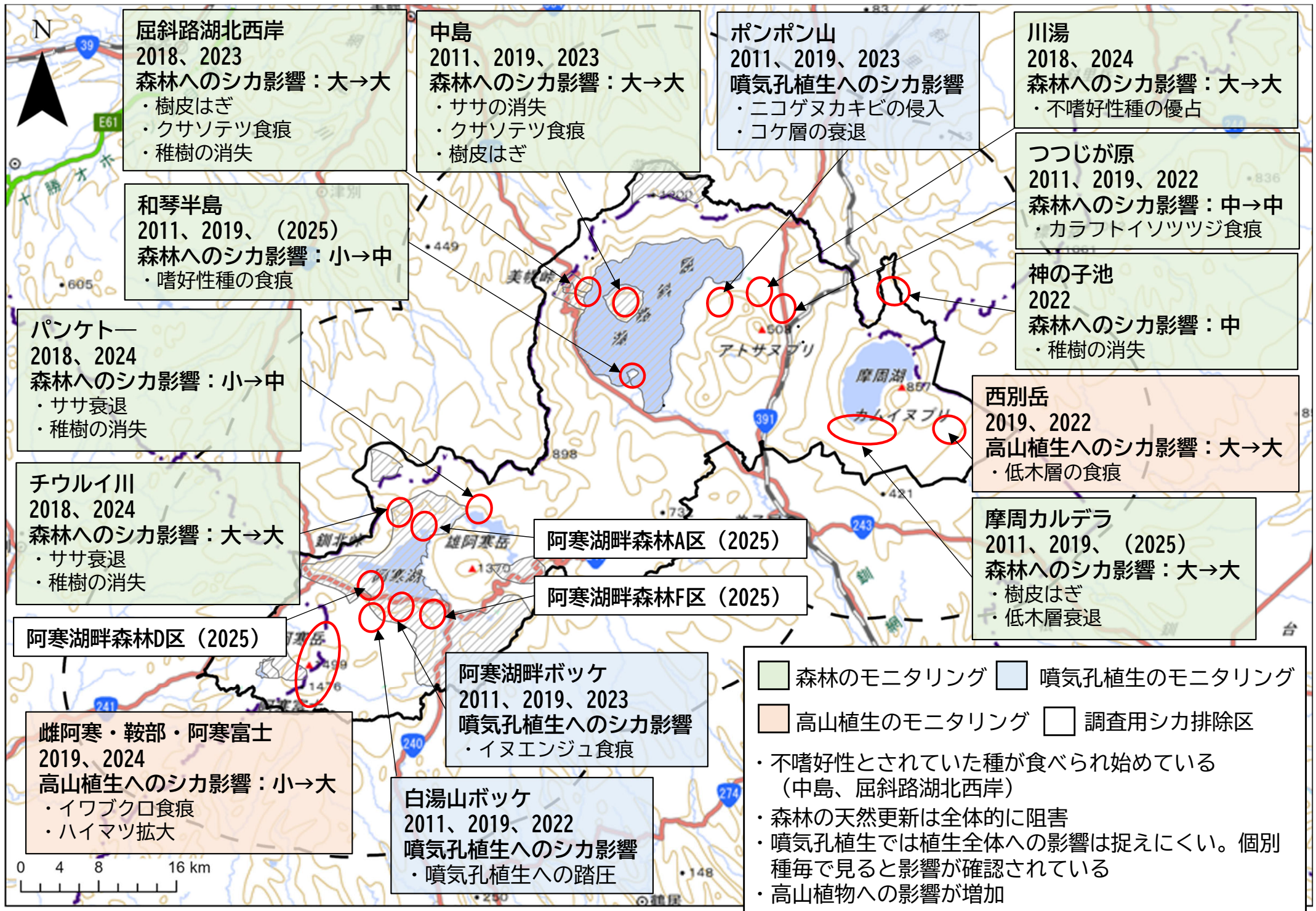


環境省の取組

(植生調査結果)

2011年以降の植生モニタリングまとめ





令和6年度 登山道調査(雌阿寒:雌阿寒温泉コース～オンネトーコース)



令和6年度詳細植生調査結果_調査区ごとの種別BMI

パンケトー北岸A

	R1	R6
シラネワラビ	+	+
ミヤマワラビ	0	+
ニッコウシダ	+	0
トドマツ実生	+	0
オヒョウ実生	0	+
ニレSP	0	+
ミヤママタタビ実生	0	+
ゴトウヅル実生	0	+
エゾキイチゴ	0	+
コミヤマカタバミ	+	+
イタヤカエデ実生	+	+
シナノキ実生	0	+
ミヤマスミレ	0	+
ミヤマタニタデ	0	0.19
ハリギリ実生	0	+
マイヅルソウSP	0	+
クルマバツクバネソウ	0	+
クマイザサ	41.57	12.19
サッポロスゲ	+	+
サハリンイトスゲ	0.84	1.80

パンケトー北岸B

	R1	R6
オシダ	8.18	0.14
ニッコウシダ	0.78	+
トドマツ実生	+	0
ニレSP	0	+
エゾイラクサ	0.56	0.14
ハルカラマツ	0	1.02
ミヤママタタビ実生	+	0
コンロンソウ	+	+
ゴトウヅル	+	0
シウリザクラ	0.10	+
イタヤカエデ実生	+	+
ハウチワカエデ実生	0	+
キツリフネ	+	+
シナノキ実生	+	+
ハリギリ実生	+	+
トネリコsp実生	+	+
オククルマムグラ	+	+
エゾタツナミソウ	+	0.80
レンブクソウ	+	+
クマイザサ	58.03	1.52
マムシグサ	+	2.55

- ・クマイザサが大きく減り、他種が成長している可能性

チウлуй川沿いA

	R1	R6
ホソバトウゲシバ	+	+
ニッコウシダ	0.52	0
トドマツ実生	+	0
ニレsp実生	+	+
クシロワチガイソウ	+	0
レイジンソウSP	0	+
サラシナショウマ	0	+
ヒメイチゲ	0	+
ゴトウヅル実生	0.07	0.10
トガスグリ実生	+	0
ヒメゴヨウイチゴ	+	+
コミヤマカタバミ	+	+
イタヤカエデ実生	+	+
フイリミヤマスマミレ	+	+
ミヤマタニタデ	+	+
トネリコsp実生	0.43	0.10
オオバノヤエムグラ	0	+
オククルマムグラ	+	+
オニルリソウ	0	+
エゾタツナミソウ	0	+
レンブクソウ	0	+
マイヅルソウsp	+	+
クマイザサ	53.19	19.22
サップロスゲ	0.51	0.15
サハリンイトスゲ	4.47	2.50

チウлуй川沿いB

	R1	R6
ホソバトウゲシバ	+	+
オシダ	0.65	0.17
ミヤマワラビ	+	+
ニッコウシダ	0.88	+
オヒョウ実生	0	+
ニレsp実生	0.21	+
ムカゴイラクサ	0.26	0.58
カラマツソウsp	+	+
サラシナショウマ	0.32	0.08
ツルアジサイ	0	0.30
ズダヤクシュ	+	0.01
ヒメゴヨウイチゴ	+	+
コミヤマカタバミ	0.20	+
イタヤカエデ実生	+	+
キツリフネ	+	+
シナノキ実生	+	0
フイリミヤマスマミレ	+	+
ミヤマタニタデ	+	+
ヤブニンジン	+	+
ヤチダモ実生	0	+
トネリコsp実生	0.31	+
オオバノヤエムグラ	+	+
オククルマムグラ	+	+
エゾタツナミソウ	+	+
アザミsp	+	+
マイヅルソウsp	+	+
イネ科sp	+	+
クマイザサ	22.76	1.98
サップロスゲ	6.40	1.82
サハリンイトスゲ	9.06	8.15

- ・クマイザサが大きく減り、他種が成長している可能性
- ・クシロワチガイソウは消失

川湯A

	R1	R6
クサソテツ	0	6.97
ニッコウシダ	+	0
エゾイラクサ	75.72	40.25
ミゾソバ	3.82	7.64
ハナタデ	0	+
キハダ	0.88	0
イタヤカエデ	0	+
キツリフネ	38.07	7.19
ツルウメモドキ	0.17	+
シナノキ	0	+
オオバノヤエムグラ	1.00	+
トウバナSP	0	+
アキタブキ	8.86	1.83
ハンゴンソウ	7.56	18.37
ミヤコザサ	22.53	21.72
ヒメシラスゲ	0	+

川湯B

	R1	R6
ヤマドリゼンマイ	9.60	6.43
ニッコウシダ	+	0
アカエゾマツ実生	0	0.12
ノリウツギ	0.85	0
オオヤマザクラ実生	0	+
ナナカマド実生	+	+
ヤマウルシ	1.32	0.22
ハウチワカエデ実生	+	0
ゴゼンタチバナ	0.23	0.18
コシアブラ実生	+	+
オオバスノキ	0.20	0
マイヅルソウ	0.13	+
ミヤコザサ	26.99	20.99

- ・エゾイラクサ、キツリフネが大きく減少
- ・ハンゴンソウ、クサソテツが増加